

国道46号 刺巻線形改良(老朽橋架替)

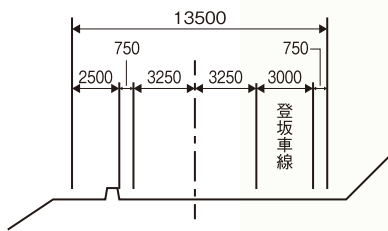
今年度の主な実施内容 ● 用地補償、改良工事

盛岡市と秋田市を結ぶ主要幹線道路となっているこの区間は、ミズバショウ群生地があり、観光客が訪れる区間となっております。昨今、視距不足区間での事故の発生や曲がりきれない等のヒヤリハットの意見が寄せられています。また、新幹線を跨ぐ老朽橋の架替も必要です。

本事業では、線形改良・登坂車線の延伸により十分な視距を確保するとともに、橋の架替を実施し、老朽化対策します。これによりインフラの長寿命化を図り利用者の安全を確保します。



標準横断面



事業箇所



整備状況



整備効果

01. 交通障害の回避
02. 観光客等歩行者の安全の確保
03. 老朽化対策